

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																															
1. 農業委員会費	<p>農業委員は知識と資質の向上に努めるべく研修を毎年行っているが、本年は道内視察研修を11月29日から12月1日まで農業委員13人の参加で実施した。また、遊休農地の発生防止に向けて農業委員と事務局職員による「農地パトロール」を8月19日に実施した。</p> <p>1. 農業委員会開催実績 平成28年4月～平成29年3月まで 12回</p> <p>2. 審議</p> <table border="1" data-bbox="376 562 1434 1193"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>件数</th> <th>面 積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">農 地 法</td> <td rowspan="2">譲 渡</td> <td>贈 与 (3条)</td> <td>3</td> <td>73.7</td> </tr> <tr> <td>売 買 (3条)</td> <td>2</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貸 借 (3条)</td> <td>14</td> <td>276.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農地転用</td> <td>4 条</td> <td>6</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>5 条</td> <td>12</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>7.7</td> </tr> <tr> <td>一時転用</td> <td>2</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">そ の 他 (3条)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農業経営 基盤強化 促進法</td> <td rowspan="2">所 有 権 移 転</td> <td>売 買</td> <td>1</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>贈 与</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貸 借</td> <td>貸 貸 借</td> <td>39</td> <td>374.3</td> </tr> <tr> <td>使用貸借</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">現 況 証 明</td> <td>6</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 委員会決定事項に基づく活動状況 (1) 農用地利用調整協議会活動 (実人数)</p> <table border="1" data-bbox="376 1294 1434 1476"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>譲渡・貸人</th> <th>譲受・借人</th> <th>面 積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所有権関係</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>貸借権関係</td> <td>26</td> <td>110</td> <td>374.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27</td> <td>111</td> <td>378.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 嘱託登記 ○ 住所変更 一件 ○ 所有権移転 1件</p> <p>(3) 小委員会等活動状況 ○ 農地小委員会 3回 ○ 農業振興小委員会 2回</p> <p>4. 主要業務実績 (1) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・新規申請 ①贈与税納税猶予 (暦年課税) 一件 ②不動産取得税徴収猶予 1件 (2) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・継続申請</p> <table border="1" data-bbox="485 1892 1399 2045"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>猶予税額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①贈与税納税猶予</td> <td>13件</td> <td>25,047,300円</td> </tr> <tr> <td>②不動産取得税徴収猶予</td> <td>21件</td> <td>1,910,800円</td> </tr> </tbody> </table>			区 分		件数	面 積 (ha)	農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	3	73.7	売 買 (3条)	2	4.8	貸 借 (3条)		14	276.7	農地転用	4 条	6	3.4	5 条	12	4.3	計	18	7.7	一時転用	2	1.9	そ の 他 (3条)		—	—	農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	1	4.4	贈 与	—	—	貸 借	貸 貸 借	39	374.3	使用貸借	—	—	現 況 証 明		6	1.1	区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)	所有権関係	1	1	4.4	貸借権関係	26	110	374.3	計	27	111	378.7		件数	猶予税額	①贈与税納税猶予	13件	25,047,300円	②不動産取得税徴収猶予	21件	1,910,800円
区 分		件数	面 積 (ha)																																																																													
農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	3	73.7																																																																												
		売 買 (3条)	2	4.8																																																																												
	貸 借 (3条)		14	276.7																																																																												
	農地転用	4 条	6	3.4																																																																												
		5 条	12	4.3																																																																												
		計	18	7.7																																																																												
		一時転用	2	1.9																																																																												
	そ の 他 (3条)		—	—																																																																												
農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	1	4.4																																																																												
		贈 与	—	—																																																																												
	貸 借	貸 貸 借	39	374.3																																																																												
		使用貸借	—	—																																																																												
現 況 証 明		6	1.1																																																																													
区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)																																																																													
所有権関係	1	1	4.4																																																																													
貸借権関係	26	110	374.3																																																																													
計	27	111	378.7																																																																													
	件数	猶予税額																																																																														
①贈与税納税猶予	13件	25,047,300円																																																																														
②不動産取得税徴収猶予	21件	1,910,800円																																																																														

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																								
	<p>(3) 諸証明事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 不動産取得税特別控除に係る証明 7件 ○ 登録免許税軽減措置に係る証明 5件 ○ 譲渡所得税特別控除に係る証明 7件 ○ 営農証明 16件 <p>(4) 農地パトロール 8月19日に全町パトロールを実施した。</p> <p>(5) 農業委員視察研修 とき 11月29～12月1日 ところ 今金町、函館市、北斗市、札幌市 第1日目は、今金町で、農業者年金の加入推進活動先進地の取組状況などの研修を行った。 第2日目は、農山漁村6次産業化の先進事例として、函館市の(株)駒ヶ岳ファーム大久保で、食品加工の規格、開発マーケティング現状・今後の経営戦略について説明を受け質疑意見交換を行った。午後から北斗市で、農業者年金の加入推進活動先進地の取組状況などの研修を行った。 第3日目は、札幌市の(一般社団法人)北海道農業会議で、改正農業委員会法の概要と農業委員の業務と農業者年金制度及び加入推進活動の強化について研修を行った。</p> <p>(6) 農業者年金推進事業 代議員会 4月11日 庁議室</p>																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="width: 15%;">区 分</th> <th rowspan="3" style="width: 15%;">加 入 者 数 (被保険者)</th> <th colspan="4" style="width: 70%;">受給者数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">計</th> <th colspan="2" style="width: 30%;">新制度</th> <th colspan="2" style="width: 30%;">旧制度</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">老齢年金</th> <th style="width: 15%;">特例付加</th> <th style="width: 15%;">老齢年金</th> <th style="width: 15%;">移譲年金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度新規</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>28年度末実績</td> <td>227</td> <td>300</td> <td>31</td> <td>24</td> <td>32</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td>支給額</td> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">97,624,629円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	加 入 者 数 (被保険者)	受給者数				計	新制度		旧制度		老齢年金	特例付加	老齢年金	移譲年金	28年度新規	18	17	6	1	3	7	28年度末実績	227	300	31	24	32	213	支給額		97,624,629円			
区 分	加 入 者 数 (被保険者)	受給者数																																							
		計	新制度		旧制度																																				
			老齢年金	特例付加	老齢年金	移譲年金																																			
28年度新規	18	17	6	1	3	7																																			
28年度末実績	227	300	31	24	32	213																																			
支給額		97,624,629円																																							
	<p>(7) 農業担い手支援協議会の活動状況</p> <p>①第23回北海道十勝農業青年との交流会 本町から1人の青年が参加し、北十勝4町の青年と関西近郊女性との交流会の場を設けた。 とき 11月26日(土)～27日(日) ところ 大阪市 SEA, SONハイキャッスル梅田 参加人数 男性7人 女性5人 主催：北十勝四町(鹿追町、士幌町、上士幌町、音更町) 「北海道十勝農業青年との交流会成婚者数」</p>																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">町名</th> <th style="width: 10%;">士幌</th> <th style="width: 10%;">上士幌</th> <th style="width: 10%;">音更</th> <th style="width: 10%;">鹿追</th> <th style="width: 10%;">計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施年・場所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H2～4年 帯広北海館</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H6～28年 関西交流会</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>※8.5</td> <td>31.5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>8.5</td> <td>33.5</td> </tr> </tbody> </table>						町名	士幌	上士幌	音更	鹿追	計	実施年・場所						H2～4年 帯広北海館	1	—	1	—	2	H6～28年 関西交流会	9	5	9	※8.5	31.5	計	10	5	10	8.5	33.5					
町名	士幌	上士幌	音更	鹿追	計																																				
実施年・場所																																									
H2～4年 帯広北海館	1	—	1	—	2																																				
H6～28年 関西交流会	9	5	9	※8.5	31.5																																				
計	10	5	10	8.5	33.5																																				
	<p>※印は交流会参加女性が交流会不参加の青年と成婚</p> <p>②第3回ALLとかち札幌交流会 札幌圏女性との交流の場を設け、本町から2人の青年が参加した。 とき 平成29年1月28日(土) ところ 札幌市 TKP札幌ビル アパホテル 参加人数 男性13人 女性13人 主催：十勝6町(清水町、音更町、士幌町、上士幌町、池田町、大樹町)</p>																																								

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																
	<p>③十勝交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十勝19市町村Xmasパーティー 平成24年度から十勝四町ふれあいパーティーとして実施していたが、本年度から枠組みを広げて十勝19市町村Xmasパーティーとして実施し、本町から2人の青年が参加した。 と き 平成28年12月23日(祝日(金)) と ころ 帯広市 農家バルFOOD BABY 参加人数 男性18人 女性16人 主催：株式会社ウィルコミュニケーションズマリッジ事業部 ・第1回勝婚(カチコン) 新たな取組として十勝19市町村を対象として実施した。 と き 平成29年2月26日(日) と ころ 帯広市 リストラン・カフェ・バーネ 参加人数 男性18人 女性16人 主催：株式会社ウィルコミュニケーションズマリッジ事業部 <p>④第14回帯広交流会(町単独開催)</p> <p>J A士幌町青年部が異業種交流会として、企画に工夫を凝らして十勝管内独身女性と交流を深めた。</p> <p>と き 平成28年11月19日(土) と ころ 帯広市 ダイニングレストラン十勝農園 参加人数 男性10人 女性10人 ※帯広交流会での成婚は3組となった。</p> <p>⑤農業担い手成婚者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7回農業担い手パートナー「バス遠足」 と き 平成28年7月14日(木) と ころ 子ども交流センター・消防庁舎・ピア21しほろ 参加人数 若妻14人、女性役員4人 ・道外成婚者「茶話会」 本年度は、中止となった。 <p>⑥個別推進</p> <p>農業青年、女性後継者と結婚希望男性と女性で1対1等の会食の場を4回行った。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">平成28年12月</td> <td style="width: 15%;">8日(木)</td> <td style="width: 15%;">畑作青年35歳・女性40歳</td> <td style="width: 50%;">札幌市で昼食</td> </tr> <tr> <td>平成29年</td> <td>1月8日(日)</td> <td>畑作青年39歳・女性38歳</td> <td>帯広市内で昼食</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>2月9日(木)</td> <td>畑作女性後継者29歳・男性35歳</td> <td>上士幌町で昼食</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>2月13日(月)</td> <td>畑作青年25歳・女性25歳</td> <td>音更町で夕食</td> </tr> </table> <p>⑦農村生活体験希望者活動</p> <p>本年度は、応募はなかった。</p> <p>⑧各種研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会(町単独開催) 6回目となる農業担い手と親を対象にした講演会は、みんなで教育を考える集いに、婚活の提唱者である少子化ジャーナリストの白河桃子さんを推薦し講演いただいた。 と き 平成28年3月12日(日) と ころ 士幌町総合研修センター 演 題 子どもの時に知っておきたいこと ～男女共同参画社会を生きる～ 	平成28年12月	8日(木)	畑作青年35歳・女性40歳	札幌市で昼食	平成29年	1月8日(日)	畑作青年39歳・女性38歳	帯広市内で昼食	〃	2月9日(木)	畑作女性後継者29歳・男性35歳	上士幌町で昼食	〃	2月13日(月)	畑作青年25歳・女性25歳	音更町で夕食
平成28年12月	8日(木)	畑作青年35歳・女性40歳	札幌市で昼食														
平成29年	1月8日(日)	畑作青年39歳・女性38歳	帯広市内で昼食														
〃	2月9日(木)	畑作女性後継者29歳・男性35歳	上士幌町で昼食														
〃	2月13日(月)	畑作青年25歳・女性25歳	音更町で夕食														

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																																																																																																
2. 農業振興費	<p>1. 概要</p> <p>平成28年度の農業を顧みると、4月から5月は高温、小雨で推移し、強風によりてん菜の一部圃場で被害の発生はあったが、播種作業はおおむね順調に終了した。</p> <p>その後、6月からの天候は一転し降雨、曇天、低温の日が続き、順調に推移していた農作物の生育も停滞し、8月に入り回復の兆しを見せたが、相次ぐ台風の上陸によって、スイートコーンやデントコーンに倒伏が発生したほか、大雨の影響による停滞水により収穫作業の遅延や品質低下を誘発した。</p> <p>収穫終盤を迎えた11月に入ってから、観測史上最も早い積雪に見舞われ、てん菜の収穫作業に影響を及ぼすなど、一年を通じて天候に悩まされる年であり、町では「土幌町異常気象農業災害対策本部」を設置し、関係機関職員による馬鈴しょ収穫支援緊急対策（手拾い収穫）をはじめ、関係機関が協力のもと支援対策を講じた。</p> <p>このような中、畜産の販売額の増加もあり販売額は2年続け400億を突破し435億円となった。</p> <p>農業を取り巻く情勢は、TPPやEPAなど国際的な動向が不透明な状況となっている一方、国内では農政改革など大きな転換期を迎えている。</p> <p>こうした中で、本町農業の持続的な発展を図るためには、需給動向を踏まえた計画的な作付けや生産コストのなお一層の低減、食の安全・安心の確保と環境負荷の軽減など環境と調和のとれた農業生産により、消費者等の信頼を得ていく取り組みが必要である。</p> <p>このため、足腰の強い農業・農業者の育成を図るべく、各種町単独事業の継続的な実施及び各種補助事業の積極的な活用をはじめ、施設等整備に対する長期低利子融資制度の活用、関係機関と連携した各種施策の推進など農業の振興を図った。</p> <p>2. 農業の動向</p> <p>(1) 農家数の動向 (単位：戸)</p> <table border="1" data-bbox="368 1115 1441 1227"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H27</th> <th>H26</th> <th>H25</th> <th>H24</th> <th>H23</th> <th>H22</th> <th>H17</th> <th>H12</th> <th>H7</th> <th>H2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農家数</td> <td>375</td> <td>377</td> <td>377</td> <td>380</td> <td>383</td> <td>387</td> <td>394</td> <td>414</td> <td>449</td> <td>496</td> <td>517</td> </tr> </tbody> </table> <p>※農林業センサス数値（H23以降は産業振興課調べ）</p> <p>(2) 主要畑作物の作付け動向 (単位：ha、kg/10a)</p> <table border="1" data-bbox="368 1294 1398 1944"> <thead> <tr> <th></th> <th>馬鈴薯</th> <th>てん菜</th> <th>大豆</th> <th>小豆</th> <th>菜豆</th> <th>小麦</th> <th>スイートコーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成28年</td><td>2,140</td><td>2,190</td><td>826</td><td>549</td><td>548</td><td>2,380</td><td>602</td></tr> <tr><td>平成27年</td><td>2,076</td><td>2,210</td><td>551</td><td>806</td><td>536</td><td>2,440</td><td>597</td></tr> <tr><td>平成26年</td><td>2,110</td><td>2,130</td><td>385</td><td>954</td><td>499</td><td>2,530</td><td>601</td></tr> <tr><td>平成25年</td><td>2,120</td><td>2,140</td><td>329</td><td>954</td><td>448</td><td>2,570</td><td>594</td></tr> <tr><td>平成24年</td><td>2,111</td><td>2,110</td><td>383</td><td>871</td><td>428</td><td>2,590</td><td>602</td></tr> <tr><td>平成23年</td><td>2,112</td><td>2,160</td><td>338</td><td>863</td><td>471</td><td>2,640</td><td>578</td></tr> <tr><td>平成22年</td><td>2,150</td><td>2,230</td><td>270</td><td>777</td><td>549</td><td>2,610</td><td>571</td></tr> <tr><td>平成17年</td><td>2,067</td><td>2,360</td><td>426</td><td>910</td><td>614</td><td>2,451</td><td>439</td></tr> <tr><td>平成12年</td><td>2,539</td><td>2,345</td><td>293</td><td>879</td><td>513</td><td>2,352</td><td>443</td></tr> <tr><td>平成7年</td><td>2,800</td><td>2,361</td><td>126</td><td>791</td><td>615</td><td>2,104</td><td>406</td></tr> <tr><td>平成2年</td><td>2,990</td><td>2,315</td><td>109</td><td>585</td><td>612</td><td>2,492</td><td>312</td></tr> <tr><td>平成28年反収</td><td>3,589</td><td>5,170</td><td>238</td><td>192</td><td>104</td><td>314</td><td>1,121</td></tr> <tr><td>平年反収</td><td>3,810</td><td>5,918</td><td>267</td><td>259</td><td>173</td><td>453</td><td>1,454</td></tr> <tr><td>指数</td><td>94</td><td>87</td><td>89</td><td>74</td><td>60</td><td>69</td><td>77</td></tr> </tbody> </table> <p>3. 農業振興対策事業の実施状況</p> <p>国・道費を伴う補助事業の積極的な活用による農業振興を推進しているが、本年度においては、強い農業づくり事業補助金等により地域活性化に向けた事業を実施した。</p>		H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H17	H12	H7	H2	農家数	375	377	377	380	383	387	394	414	449	496	517		馬鈴薯	てん菜	大豆	小豆	菜豆	小麦	スイートコーン	平成28年	2,140	2,190	826	549	548	2,380	602	平成27年	2,076	2,210	551	806	536	2,440	597	平成26年	2,110	2,130	385	954	499	2,530	601	平成25年	2,120	2,140	329	954	448	2,570	594	平成24年	2,111	2,110	383	871	428	2,590	602	平成23年	2,112	2,160	338	863	471	2,640	578	平成22年	2,150	2,230	270	777	549	2,610	571	平成17年	2,067	2,360	426	910	614	2,451	439	平成12年	2,539	2,345	293	879	513	2,352	443	平成7年	2,800	2,361	126	791	615	2,104	406	平成2年	2,990	2,315	109	585	612	2,492	312	平成28年反収	3,589	5,170	238	192	104	314	1,121	平年反収	3,810	5,918	267	259	173	453	1,454	指数	94	87	89	74	60	69	77
	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H17	H12	H7	H2																																																																																																																																						
農家数	375	377	377	380	383	387	394	414	449	496	517																																																																																																																																						
	馬鈴薯	てん菜	大豆	小豆	菜豆	小麦	スイートコーン																																																																																																																																										
平成28年	2,140	2,190	826	549	548	2,380	602																																																																																																																																										
平成27年	2,076	2,210	551	806	536	2,440	597																																																																																																																																										
平成26年	2,110	2,130	385	954	499	2,530	601																																																																																																																																										
平成25年	2,120	2,140	329	954	448	2,570	594																																																																																																																																										
平成24年	2,111	2,110	383	871	428	2,590	602																																																																																																																																										
平成23年	2,112	2,160	338	863	471	2,640	578																																																																																																																																										
平成22年	2,150	2,230	270	777	549	2,610	571																																																																																																																																										
平成17年	2,067	2,360	426	910	614	2,451	439																																																																																																																																										
平成12年	2,539	2,345	293	879	513	2,352	443																																																																																																																																										
平成7年	2,800	2,361	126	791	615	2,104	406																																																																																																																																										
平成2年	2,990	2,315	109	585	612	2,492	312																																																																																																																																										
平成28年反収	3,589	5,170	238	192	104	314	1,121																																																																																																																																										
平年反収	3,810	5,918	267	259	173	453	1,454																																																																																																																																										
指数	94	87	89	74	60	69	77																																																																																																																																										

項目	主要施策・成果・予算執行実績									
(1) 強い農業づくり事業補助金 (単位：円)										
事業区分		事業内容	事業費	補助金						
①	整備事業	担い手確保・経営強化支援事業 (融資主体型補助) ・農業用機械等の導入 (2戸：7台)	75,605,392	35,001,000						
②	整備事業	産地競争力の強化 (災害対応)	178,545,600	82,659,000						
		でん粉工場取水施設 (平成28年度実施分) ※応急復旧 (翌年度繰越分)	24,840,000 (8,748,000) (16,092,000)	11,500,000 (4,050,000) (7,450,000)						
		公共牧場 ※全額翌年度繰越	153,705,600	71,159,000						
(2) その他国・道費等を伴う補助事業等 (単位：円)										
事業種目名		事業内容	事業費	補助金						
①	農業経営基盤強化 資金利子補給事業	スーパーL資金借入農家への 一部利子補給	7,408,273	3,704,206						
②	経営所得安定対策 等推進事業	経営所得安定対策の実施に係 る事務費補助	853,168	850,000						
③	青年就農給付金 事業 (経営開始型)	新規就農者の経営が安定する まで最長5年間、給付金を給付	1,380,319	1,380,319						
④	北海道地域づくり 総合交付金	ジャガイモ保管施設加湿供給 装置整備	14,850,000	6,400,000						
⑤	産地パワーアップ 事業 (整備事業)	馬鈴薯集出荷貯蔵施設 ※全額翌年度繰越	3,996,000,000	1,850,000,000						
(3) 町単独補助事業等 ①農畜産物対策実行委員会負担金 210,000円 ②農業後継者就農激励会負担金 58,024円 ③農業振興対策本部助成金 1,758,663円 ④農民組織運営活動助成金 1,400,000円 ⑤農業担い手支援協議会活動助成金 910,000円 ⑥コントラ会事業助成金 150,000円 ⑦アグリ研究グループ活動助成金 427,000円 ⑧循環型農業システム検討会活動助成金 32,937円 ⑨家畜糞尿バイオガスプラント整備推進助成金 7,159,000円 ⑩農業経営資金利子助成事業 147,919円 ⑪十勝管内農業共済組織再編事業 674,438,188円										
4. 農業後継者関係										
(1) 新規就農農業後継者調べ										
年度	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19
人数	2	7	9	8	8	8	7	8	3	10
(2) 農業後継者結婚実績										
年度	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19
組	10	10	5	8	7	6	3	9	7	6
(3) 農業担い手未婚者調べ										
年齢	30才未満		30～34	35～39	40～44	45～49	計			
人数	34		6	22	10	7	79			

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績			
3. 農 業 振 興 基 金 運 用 事 業 費	1. 運用事業実績 (1) 一般基金			
	歳 入	項 目	内 容	金 額 (円)
		基金利子収入		36,803,049
		基金繰入金		47,380,000
		計		84,183,049
	歳 出	産業担い手確保育英事業	農大研修経費助成	750,000
		農薬空袋処理事業	農薬空容器処理経費助成	329,000
		農業廃棄物処理事業	農業用廃 ^ラ 処理経費助成	1,000,000
		農業女性研修事業	※他町費 1,064,000 円	
		基幹作物輪作維持支援事業	ポテトハーベスター導入助成	14,980,000
		積立金	※他町費 21,600,000 円	32,400,000
		運営費	報酬・旅費	34,698,329
		計		25,720
		計		84,183,049
		年度末基金残高	446,983,821 円	
		(2) 特別基金		
		1号基金		
		基金利子収入	12,982,751 円	
		寄付金	30,000,000 円	
		年度末基金残高	920,195,732 円	
	2号基金			
	基金利子収入	859,786 円		
	年度末基金残高	58,953,546 円		
	1号基金+2号基金	979,149,278 円		
	2. 不動産保有の明細 (一般基金)			
	住 所	地 目	面 積 (㎡)	
	白老郡白老町字石山 109 番地 16	原 野	25,893	
	" 109 番地 18	"	15,460	
	" 109 番地 36	"	3,360	
	計		44,713	
	苫小牧市字植苗 112 番地 2	山 林	97,964	
	" 112 番地 6	"	17,507	
	計		115,471	
	(特別基金)			
	住 所	地 目	面 積 (㎡)	
	苫小牧市字美沢 1 番地 3	山 林	53,144	
	" 1 番地 5	"	13,008	
	" 1 番地 6	"	11,147	
	" 1 番地 7	宅 地	1,417.19	
	計		78,716.19	

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績			
4. 農業振興人材育成基金運用事業費	運用事業実績			
	歳入	基金利子収入		1,425,694
		基金繰入金		0
		計		1,425,694
	歳出	文化交流学生派遣事業負担金	交流学生派遣 ※他町費 1,984,639 円	604,000
		人材育成団体活動助成	士幌啓明塾活動助成	84,000
		農協青年・女性部研修講座等 受講助成	農協青年・女性部研修助成	135,000
農業後継者等海外研修助成金 積立金		海外研修助成	250,000	
運営費		報酬・旅費	343,694	
計		9,000		
年度末基金残高		138,760,657 円		
5. 畜産業費	1. 概要			
	<p>国際情勢は、米国での新政権の発足と同時にTPP永久離脱を表明し、今後EUも含めての二国間交渉への転換が加速化することが懸念され、政府には確実に再生産が可能な政策を確立するよう強く求めていかなければならない。</p> <p>本町の生乳生産状況は、上期は増産を維持していたが、28年産粗飼料の給与が始まった下期以降は前年を下回って推移し、対前年比100.5%となり、微増ながら史上最高の89,716トンとなった。</p> <p>生乳販売高についても、原料乳確保対策や乳質・乳成分上昇などにより初の86億円台となった。8月以降は台風による降雨多湿な天候や敷料などの影響で厳しい牛舎環境となり、また抗菌性物質残留による廃棄事故が連続して発生したことから、関係機関と連携して再発防止に向けた緊急対策を行った。</p> <p>肉牛生産については、枝肉相場は国産牛肉の高止まりにより、夏以降米国産牛肉へのシフトが活発化し、市況は値下げで推移してきた。肥育素牛の不足により、素畜費の高止まりが続き、乳用種においては牛マルキン（肉用牛肥育経営安定特別対策事業：肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者の拠出と機構の補助により造成した基金から粗収益と生産費との差額の8割を補てんする制度）が発動されるなど、収支が伴わない非常に厳しい状況となった。士幌牛の生産は輸入牛肉との差別化を図りながらコスト低減、適切な飼養管理改善を行い、定期的な個別巡回を行った。</p> <p>また、北海道で初めての高病原性鳥インフルエンザが12月に十勝管内で発生し、今後のまん延防止に備える防疫体制の必要性が高まり、隣国の韓国においては2月に口蹄疫が再発し、他の東アジア諸国でも発生が続いていることから、防疫体制の強化に努めなければならない。十勝管内における家畜の監視伝染病発生状況も依然として高い比率で発生しているため、今後とも十勝家畜保健衛生所との連携のもと、蔓延を最小限に抑える取り組みが必要である。</p> <p>畜産振興としては、乳牛検定事業、酪農ヘルパー事業及び各種団体に対する助成を行ったほか、国の高収益型畜産体制構築事業を活用し、士幌町酪農畜産クラスター協議会において、産地の取組項目や収益向上目標等の計画を基に機械導入を行い、作業効率の向上を図った。</p>			
2. 家畜飼養頭数 (単位：頭)				
家畜の区分	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
乳 牛	18,651	20,714	19,458	18,554
ホ ル 雄	33,236	31,669	33,706	37,388
肉用種（F1）	20,502	21,422	20,210	13,256

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績			
黒 毛 和 牛	910	715	872	863
馬	64	69	58	50
計	73,363	74,589	74,304	70,111
3. 農家戸数				(単位：戸)
農家区分	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
搾乳農家	65	68	69	71
肉牛農家	46	43	41	42
4. 生乳生産動向				(単位：トン)
	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
生乳生産量	89,716	89,282	85,596	83,793
5. 家畜伝染病予防法に基づく検査状況				
家畜伝染病の発生やまん延を防止するため、次のとおり検査を実施した。				
また、ヨーネ病発生農家7戸について、法第51条の継続検査を実施している。その内1戸について、発生3ヶ月後検査において毎回陽性反応が出ており、殺処分が続いている。				
区 分	頭数・群数	備 考		
馬伝染性貧血	49	5年毎（次回は平成33年度に実施）		
蜜蜂の腐蛆病	0	天候不順で実施できず		
6. 家畜改良増殖法による種畜検査				
区 分	頭 数	備 考		
種 雄 牛	7	黒毛和牛2頭、ホルスタイン種5頭		
種 雄 馬	3	北海道和種1頭、ポニー系種2頭		
7. 畜産振興助成金等事業				(単位：円)
事 業 名			金 額	
乳牛検定事業活動助成金			1,680,000	
酪農振興協議会活動助成金			105,000	
肉牛振興会活動助成金			56,000	
馬事振興会活動助成金			28,000	
酪農ヘルパー事業助成金			1,850,000	
〃 (酪農振興対策事業)			1,962,500	
家畜品評会事業助成金			168,000	
酪農振興特別対策事業助成金			4,500,000	

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																								
	8. 酪農振興基金事業運用実績			(単位：円)																																					
	項 目	内 容	金 額																																						
歳入	基金利子収入		325,802																																						
	基金繰入金		1,962,500																																						
	計		2,288,302																																						
歳出	酪農振興基金運用委員会運営費	委員報酬	21,000																																						
	"	委員費用弁償	2,520																																						
	酪農ヘルパー事業助成金	酪農ヘルパー事業助成	302,282																																						
	"	酪農振興対策事業助成	1,962,500																																						
出	計		2,288,302																																						
	年度末基金残高 248,654,500 円																																								
6. 土地改良事業費	<p>1. 土地改良事業関係</p> <p>土地基盤整備の実施により農業生産性の向上と経営基盤の強化を図るため、主に暗渠排水及び石礫除去等の圃場整備を優先し、併せて、営農の基本となる湿害防止のための明渠排水、農道整備を実施した。</p> <p>団体営事業では、農道整備事業上居辺地区及び小規模土地改良事業を実施した。</p> <p>道営事業では、農地整備事業継続4地区（西上第2、上居辺第2、士幌佐倉第2、士幌地区（単独営農用水））、草地整備事業1地区（新田地区）及び士幌南部第2地区の調査計画を実施した。</p> <p>国営事業では、かんがい排水事業継続2地区（富秋士幌川下流地区、士幌西部地区）を実施した。各事業の実施状況は次のとおりである。</p> <p>(1) 団体営事業 () 前年度</p> <table border="1" data-bbox="368 1144 1426 1444"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>地区名</th> <th>事業量</th> <th>事業費(千円)</th> <th>新継別</th> <th>補助額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">農道整備</td> <td rowspan="2">上居辺</td> <td>調査設計</td> <td></td> <td rowspan="2">継</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>農道 L=615m</td> <td>(19,284) 47,373</td> </tr> <tr> <td>小規模土地改良</td> <td>新栄</td> <td>排水路 L=170m</td> <td>(11,696) 11,383</td> <td>継</td> <td>4,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 道営事業 () 前年度</p> <table border="1" data-bbox="368 1480 1426 2072"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>地区名</th> <th>事業量</th> <th>事業費(千円)</th> <th>新継別</th> <th>補助率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">道営農地整備</td> <td>西上第2</td> <td>排水路 L=1,038m 区画整理 A=27.8ha 暗渠排水 A=23.6ha 石礫除去 A=5.0ha 調査設計 一式</td> <td>(155,538) 150,601</td> <td>継</td> <td>国・道 80</td> </tr> <tr> <td>上居辺第2</td> <td>農道 L=368m 区画整理 A=9.0ha</td> <td>(245,393) 43,405</td> <td>継</td> <td>国・道 80</td> </tr> </tbody> </table>				事業区分	地区名	事業量	事業費(千円)	新継別	補助額(千円)	農道整備	上居辺	調査設計		継	-	農道 L=615m	(19,284) 47,373	小規模土地改良	新栄	排水路 L=170m	(11,696) 11,383	継	4,000	事業区分	地区名	事業量	事業費(千円)	新継別	補助率(%)	道営農地整備	西上第2	排水路 L=1,038m 区画整理 A=27.8ha 暗渠排水 A=23.6ha 石礫除去 A=5.0ha 調査設計 一式	(155,538) 150,601	継	国・道 80	上居辺第2	農道 L=368m 区画整理 A=9.0ha	(245,393) 43,405	継	国・道 80
事業区分	地区名	事業量	事業費(千円)	新継別	補助額(千円)																																				
農道整備	上居辺	調査設計		継	-																																				
		農道 L=615m	(19,284) 47,373																																						
小規模土地改良	新栄	排水路 L=170m	(11,696) 11,383	継	4,000																																				
事業区分	地区名	事業量	事業費(千円)	新継別	補助率(%)																																				
道営農地整備	西上第2	排水路 L=1,038m 区画整理 A=27.8ha 暗渠排水 A=23.6ha 石礫除去 A=5.0ha 調査設計 一式	(155,538) 150,601	継	国・道 80																																				
	上居辺第2	農道 L=368m 区画整理 A=9.0ha	(245,393) 43,405	継	国・道 80																																				

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績					
	道 営 農 地 整 備	士 幌 佐 倉 第 2	区画整理 A=51.9ha 暗渠排水 A=14.7ha 石礫除去 A=8.5ha 調査設計 一式	(49,475) 117,745	継	"
		士 幌 (営)	管路工 L=8,569m 調査設計 一式	(69,212) 437,148	継	国・道 72.5
		士 幌 南部第 2	調査計画 一式	(0) 2,128	継	道 50
	道 営 草 地	新 田	造成改良 A=99.6ha 隔障物整備 1,771m	(97,571) 133,148	継	国・道 75
	計		農 道 L=368m 区画整理 A=88.7ha 暗渠排水 A=38.3ha 石礫除去 A=13.5ha 造成改良 A=99.6ha 排水路 L=1,038m 管路工 L=8,569m 隔障物整備 1,771m 調査設計 一式 調査計画 一式	(624,169) 884,175		
(単位：千円)						
	国・道補助金	北電等	地元負担金	うち町負担金 (PU助成含む)		
負担内訳	(489,265) 667,258	(0) 0	(134,903) 216,917	(67,585) 139,515		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																	
	(3) 農業競争力基盤強化特別対策事業 担い手農家の育成・確保に向けた生産基盤の整備を促進するため、国（促進費）及び道と市町村が連携して農家負担を軽減した。負担割合及び負担額は次のとおりである。																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>地元負担</th> <th>うち農家負担</th> <th>うち促進費</th> <th>うち道負担</th> <th>うち町負担</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道営農地整備</td> <td>20%</td> <td>7.5%</td> <td>6.25%</td> <td>3.125%</td> <td>3.125%</td> </tr> <tr> <td>負担額（千円）</td> <td>44,115</td> <td>16,543</td> <td>13,786</td> <td>6,890</td> <td>6,896</td> </tr> </tbody> </table>						地元負担	うち農家負担	うち促進費	うち道負担	うち町負担	道営農地整備	20%	7.5%	6.25%	3.125%	3.125%	負担額（千円）	44,115	16,543	13,786	6,890	6,896																											
		地元負担	うち農家負担	うち促進費	うち道負担	うち町負担																																												
	道営農地整備	20%	7.5%	6.25%	3.125%	3.125%																																												
	負担額（千円）	44,115	16,543	13,786	6,890	6,896																																												
	(4) 国営かんがい排水事業 富秋士幌川下流地区調査設計・用地補償・工事 事業費 377,761千円 士幌西部地区調査設計・用地補償・工事 事業費 580,651千円																																																	
	2. 町単独事業として実施した事業 明渠排水路維持工事として、吉野北地区明渠排水ほかを実施した。 29,840千円（20,889千円）																																																	
	3. 多面的機能支払交付金事業 平成19年度から実施している農地・水・環境保全向上対策事業は、平成24年度より農地・水保全管理支払交付金事業、平成26年度より多面的機能支払交付金事業として町内農村部全9地区が共同活動を行った。																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区名</th> <th rowspan="2">農用地面積（ha）</th> <th rowspan="2">交付金（千円）</th> <th>うち町負担（千円）</th> </tr> <tr> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>西上</td><td>1,398.23</td><td>14,724</td><td>3,681</td></tr> <tr><td>上居辺</td><td>2,600.18</td><td>33,925</td><td>8,481</td></tr> <tr><td>中士幌</td><td>928.63</td><td>10,967</td><td>2,742</td></tr> <tr><td>士幌南</td><td>2,007.59</td><td>24,864</td><td>6,216</td></tr> <tr><td>佐倉</td><td>1,501.87</td><td>12,369</td><td>3,092</td></tr> <tr><td>士幌北</td><td>1,510.04</td><td>18,191</td><td>4,548</td></tr> <tr><td>下居辺</td><td>1,118.38</td><td>9,454</td><td>2,363</td></tr> <tr><td>北中</td><td>1,733.59</td><td>10,781</td><td>2,695</td></tr> <tr><td>新田</td><td>1,643.19</td><td>8,854</td><td>2,214</td></tr> <tr><td>計</td><td>14,441.70</td><td>144,129</td><td>36,032</td></tr> </tbody> </table>					地区名	農用地面積（ha）	交付金（千円）	うち町負担（千円）		西上	1,398.23	14,724	3,681	上居辺	2,600.18	33,925	8,481	中士幌	928.63	10,967	2,742	士幌南	2,007.59	24,864	6,216	佐倉	1,501.87	12,369	3,092	士幌北	1,510.04	18,191	4,548	下居辺	1,118.38	9,454	2,363	北中	1,733.59	10,781	2,695	新田	1,643.19	8,854	2,214	計	14,441.70	144,129	36,032
	地区名	農用地面積（ha）	交付金（千円）	うち町負担（千円）																																														
西上	1,398.23	14,724	3,681																																															
上居辺	2,600.18	33,925	8,481																																															
中士幌	928.63	10,967	2,742																																															
士幌南	2,007.59	24,864	6,216																																															
佐倉	1,501.87	12,369	3,092																																															
士幌北	1,510.04	18,191	4,548																																															
下居辺	1,118.38	9,454	2,363																																															
北中	1,733.59	10,781	2,695																																															
新田	1,643.19	8,854	2,214																																															
計	14,441.70	144,129	36,032																																															
7. 農地利用集積円滑化事業基金運用事業費	1. 事業による管理地 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>管理件数</th> <th>面積（㎡）</th> <th>取得価格（㎡）</th> <th>利子補給金（㎡）</th> <th>管理費（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28度末管理地</td> <td>25</td> <td>1,623,098</td> <td>219,523,243</td> <td>3,503,614</td> <td>1,722,112</td> </tr> <tr> <td>平成28年度指定管理地</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						管理件数	面積（㎡）	取得価格（㎡）	利子補給金（㎡）	管理費（円）	平成28度末管理地	25	1,623,098	219,523,243	3,503,614	1,722,112	平成28年度指定管理地	0	0	0																													
	管理件数	面積（㎡）	取得価格（㎡）	利子補給金（㎡）	管理費（円）																																													
平成28度末管理地	25	1,623,098	219,523,243	3,503,614	1,722,112																																													
平成28年度指定管理地	0	0	0																																															

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																	
	<p>2. 運用事業実績</p> <table border="1" data-bbox="368 286 1412 658"> <thead> <tr> <th></th> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>金 額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">歳入</td> <td>基金利子収入</td> <td></td> <td>4,609,612</td> </tr> <tr> <td>運用益金</td> <td></td> <td>6,871,002</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>11,480,614</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">歳出</td> <td>管理費補助・利子補給金</td> <td></td> <td>5,225,726</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td></td> <td>6,231,768</td> </tr> <tr> <td>運営費</td> <td>報酬・旅費</td> <td>23,120</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>11,480,614</td> </tr> <tr> <td colspan="2">年度末基金残高</td> <td>295,448,450円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項 目	内 容	金 額 (円)	歳入	基金利子収入		4,609,612	運用益金		6,871,002	計		11,480,614	歳出	管理費補助・利子補給金		5,225,726	積立金		6,231,768	運営費	報酬・旅費	23,120	計		11,480,614	年度末基金残高		295,448,450円	
	項 目	内 容	金 額 (円)																															
歳入	基金利子収入		4,609,612																															
	運用益金		6,871,002																															
	計		11,480,614																															
歳出	管理費補助・利子補給金		5,225,726																															
	積立金		6,231,768																															
	運営費	報酬・旅費	23,120																															
	計		11,480,614																															
年度末基金残高		295,448,450円																																
8. 林業振興費	<p>1. 民有林振興対策事業</p> <p>林業を取り巻く情勢は、木材価格の低迷など森林所有者の林業に対する関心は低下している。一方、森林の二酸化炭素吸収による地球温暖化防止や地球にやさしい循環資源である木材利用の拡大など森林・林業に対する期待が高まっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、国や道による各種施策が展開され、管内の市町村や林業事業体で「緑の産業再生プロジェクト十勝推進委員会」を組織して森林整備や林業再生の施策が取り組まれた。本町でも関係機関と連携して林業の振興や民有林の整備を推進した。</p> <p>(1) 未来につなぐ森づくり推進事業</p> <p>伐採後の確実な植林等を実施することにより、森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能の発揮をするため植栽事業の経費の一部を補助した。</p> <table border="1" data-bbox="368 1070 1257 1256"> <thead> <tr> <th>事業種</th> <th>事業量</th> <th>造林実施者への補助金</th> <th>うち道補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造 林</td> <td>36.53ha</td> <td>5,419,483円</td> <td>3,335,053円</td> </tr> <tr> <td>準備地拵</td> <td>10.23ha</td> <td>891,548円</td> <td>548,640円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>46.76ha</td> <td>6,311,031円</td> <td>3,883,693円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 森林認証</p> <p>平成27年度に十勝管内17市町村と12森林組合、その他20法人及び個人の森林所有者でとち森林認証協議会を組織し、第三者機関による森林認証「S G E C」を取得。町内の民有林2,337haの森林認証を受けた。</p> <p>2. 林業関係団体負担金</p> <table data-bbox="368 1464 1225 1637"> <tbody> <tr> <td>(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金</td> <td>71,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金</td> <td>38,000円</td> </tr> <tr> <td>(3) 北海道造林協会負担金</td> <td>62,000円</td> </tr> <tr> <td>(4) 森林整備担い手対策推進事業負担金</td> <td>58,295円</td> </tr> <tr> <td>(5) とち森林認証協議会負担金</td> <td>133,620円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 有害鳥獣駆除事業</p> <p>エゾシカの生息環境等の変化に伴い農業被害が広範囲で発生しており、猟友会の協力を得て個体数調整捕獲や巡回などの対策を実施している。捕獲の担い手不足が課題とされてきたが、新規の猟友会会員が2人入会となった。</p> <p>エゾシカ被害の軽減対策として、土幌町農業協同組合との共同事業である地域エゾシカ対策事業として「くくりわな」による捕獲を実施した。</p> <p>キツネやカラスによる農畜産業被害や生活環境被害の対策として、箱わなによる捕獲を通年実施した。</p> <p>平成22年度に組織した土幌町鳥獣被害防止対策協議会（構成団体：土幌町農業協同組合、十勝大雪森林組合、猟友会土幌部会、十勝総合振興局農業改良普及センター十勝北部支所、土幌町）では、有害鳥獣の一斉捕獲など鳥獣被害防止対策を行った。</p>			事業種	事業量	造林実施者への補助金	うち道補助金	造 林	36.53ha	5,419,483円	3,335,053円	準備地拵	10.23ha	891,548円	548,640円	計	46.76ha	6,311,031円	3,883,693円	(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金	71,000円	(2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金	38,000円	(3) 北海道造林協会負担金	62,000円	(4) 森林整備担い手対策推進事業負担金	58,295円	(5) とち森林認証協議会負担金	133,620円					
事業種	事業量	造林実施者への補助金	うち道補助金																															
造 林	36.53ha	5,419,483円	3,335,053円																															
準備地拵	10.23ha	891,548円	548,640円																															
計	46.76ha	6,311,031円	3,883,693円																															
(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金	71,000円																																	
(2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金	38,000円																																	
(3) 北海道造林協会負担金	62,000円																																	
(4) 森林整備担い手対策推進事業負担金	58,295円																																	
(5) とち森林認証協議会負担金	133,620円																																	

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																													
	<p>有害鳥獣捕獲状況 (単位：頭、羽)</p> <table border="1" data-bbox="368 286 1370 474"> <thead> <tr> <th>鳥獣区分</th> <th>ヒグマ</th> <th>エゾシカ</th> <th>キツネ</th> <th>カラス</th> <th>ドバト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td></td> <td>104</td> <td>58</td> <td>77</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>1</td> <td>118</td> <td>76</td> <td>60</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td></td> <td>99</td> <td>78</td> <td>51</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 猟友会有害鳥獣駆除助成金 91,000円 (2) 有害鳥獣捕獲報償費 1,048,100円 (3) キツネ捕獲等委託料 540,000円 (4) カラス捕獲檻管理委託料 390,000円 (5) 地域エゾシカ対策事業助成金 53,540円 (6) 銃猟免許新規取得者助成金 200,000円</p>						鳥獣区分	ヒグマ	エゾシカ	キツネ	カラス	ドバト	28年度		104	58	77		27年度	1	118	76	60	3	26年度		99	78	51	23
鳥獣区分	ヒグマ	エゾシカ	キツネ	カラス	ドバト																									
28年度		104	58	77																										
27年度	1	118	76	60	3																									
26年度		99	78	51	23																									
9. 林 道 費	<p>林道整備は、森林の多面的機能を維持的に発揮していくための基盤であり、持続可能な森林経営を実現するために簡易で丈夫な、使いやすい道づくりを進め林業の生産向上に努めており、本年度は、森林環境保全整備事業国庫補助事業道営林道「ワッカ美加登線」により、開設延長180mが実施された。</p> <p>(単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="368 891 1439 987"> <thead> <tr> <th></th> <th>国・道補助金</th> <th>町負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負 担 内 訳</td> <td>37,770</td> <td>12,590</td> </tr> </tbody> </table>							国・道補助金	町負担金	負 担 内 訳	37,770	12,590																		
	国・道補助金	町負担金																												
負 担 内 訳	37,770	12,590																												
10. そ の 他	<p>コミュニティーセンター利用状況</p> <table border="1" data-bbox="368 1055 962 1151"> <thead> <tr> <th>利用延べ団体数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>503 団体</td> <td>8,327 人</td> </tr> </tbody> </table>						利用延べ団体数	利用人数	503 団体	8,327 人																				
利用延べ団体数	利用人数																													
503 団体	8,327 人																													